

いつもプロペット製品にご愛顧を賜り、ありがとうございます。このたびはFM 送受信機Ⅲ16CHをお買い上げ賜り、厚くお礼申し上げます。ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みになり、十分ご理解の上で、正しく安全にご使用ください。お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に大切に保管して下さい。

### 本セットの特徴

- ・本セットは送信機と受信機のペアで構成されています。
- ・周波数偏移変調式で、2.4GHz帯で動作します。
- ・送信機

省電力機能として、スタンバイモードとスリープモードが搭載されています。(※自動で移行・復帰します、ユーザーが任意に設定することはできません)

スタンバイモードでは、最長1年(または30,000回の送信のいずれか早い方)の使用が可能です。(ただし、新品の電池を使用した場合で、且つ環境温度に影響されます)

カメラのアクセサリシューにも優しく、トリガー時の電流はわずか0.01mAです。

アクセサリシュー付きの多くのカメラに対応します。

有線でのトリガー入力にも対応します。(2.5φのマイクロフォンプラグのシンクロケーブルが別途必要です)

### ・受信機

入手しやすく、環境にも優しい単四乾電池を採用しています。

マイコン制御で混信を防止すると共に、鋭い応答速度を実現しています。

最大同期速度は1/250sです。(ただし、カメラとストロボの性能に依存します)

スタンダードな6.3φのシンクロプラグを標準装備、3.5φへの交換プラグも同梱しています。

さらにもう1系統のトリガー出力を標準装備しています。(本受信機1台で、最大2台分のトリガー出力が可能です。2.5φのマイクロフォンプラグのシンクロケーブルが別途必要です)

・最大作動距離は100mです。(ただし、電波に干渉のないオープンエリアの場合)

・16チャンネルから一つを選択可能です。

## 安全上のご注意

- 警告** 取り扱いを誤った場合に、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容
- 注意** 取り扱いを誤った場合に、使用者が障害を負う危険が想定される内容及び物的障害の発生が想定される内容

なお、**注意**に記載された事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

- 警告**
  - 分解禁止** 分解、修理、改造をしないでください。十分な性能を発揮できなくなるだけでなく、感電や異常動作の原因になります。
  - 使用禁止** 次のような場所や環境で使用しないでください。著しく温度や湿度の高い所 水やしぶき、薬品などがかかる恐れのある所 引火・爆発の恐れのある所 けがや感電、火災の原因になります。
  - 警告** 電池交換を行う際は、必ず電源をオフしてから行なってください。故障や予期せぬ事故の原因になります。
  - 発光禁止** ストロボの発光部の直前にパラソルやトレーシングペーパーなど、燃えやすいものがある状態で発光させないでください。火災の原因になります。
  - 発光禁止** 人の目に近付けた状態、または発光部を直視した状態で発光させないでください。視力障害の原因になります。 ※お子様を撮影する場合は特にご注意ください。
  - 接触禁止** 使用中や使用直後のストロボの発光部及びレフレクターには触らないでください。やけどの原因になります。
  - 警告** 電池は指定と同等のものを使用してください。故障や誤動作の原因になります。
- 注意**
  - 感電注意** 次の場合は直ちに使用を中止してください。落下などにより変形・破損が見つかった場合 電池が異常に発熱している場合 異音や異臭がした場合 感電や火災の原因になります。

## ご使用上の注意とお願い

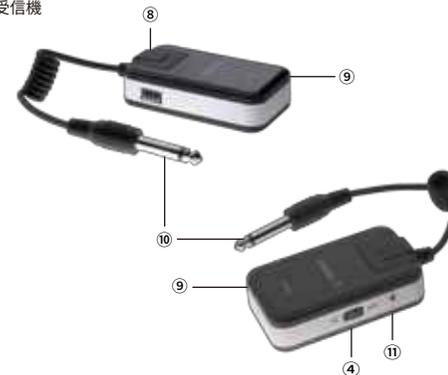
- 送信機と受信機のチャンネルスイッチが同じ設定になっていることを確認してください。チャンネルスイッチが送信機と受信機とで異なる設定になっていると、通信ができません。
- 電源スイッチをON側に切り替えたにも関わらず、インジケータに何も変化が現れない場合は以下をご確認ください。
  - ・テストボタンを一度押してみてください。赤色に発光後、緑色での点滅が繰り返されれば、正常に動作しています。
  - ・電池が正しい向きに取り付けられているかを確認してください。
  - ・電池を新しいものに交換してみてください。
- 上記を確認したにも関わらず症状に変化がない場合は、弊社へお問い合わせください。
- 受信距離が短くなった、とお感じになった場合は、電池の残量を確認してください。電池の残量が少なくなると、本来の性能が発揮できません。
- シューアダプターがカメラのアクセサリシューにしっかりと接続されていることを確認してください。誤動作や故障の原因になります。
- シンクロプラグがストロボのシンクロコンセントにしっかりと接続されていることを確認してください。誤動作や故障の原因になります。
- 指定された種類以外の電池の使用はご遠慮ください。故障の原因になります。
- 送信機のアンテナに強い力を加えないでください。破損や故障の原因になります。
- 長期間使用機会が無い場合は電池を外して保管してください。電池の液漏れが起こった場合、故障の原因になります。
- 機器の分解、修理、改造を行わないでください。保証の対象外となります。

## 各部の名称と機能

送信機



受信機



- ①テストボタン テスト発光を行います。
- ②送信インジケータ 発光信号を送信すると、赤く光ります。スタンバイ状態時は緑の点滅を繰り返します。スリープモードに移行すると、緑の点滅は消灯します。(※送信機だけの機能です、受信機側にスリープ機能はありません)
- ③アンテナ無線通信用のアンテナです。
- ④電源スイッチ 電源をオン/オフするときに使用します。
- ⑤シューブラケット カメラのアクセサリシューへ取り付ける際に使用します。
- ⑥シンクロコンセント (入力) マイクロフォンジャックタイプ(2.5φ)です。トリガー信号の入力用です。
- ⑦電池カバー 電池ボックスのカバーです。
- ⑧チャンネルスイッチ チャンネル設定用のスイッチです。送信側と受信側で同じ設定にしてください。
- ⑨受信インジケータ 発光信号を受信すると、赤く光ります。スタンバイ状態時は緑の点滅を繰り返します。
- ⑩シンクロプラグ フォンプラグタイプ(6.3φ)です。
- ⑪シンクロコンセント (出力) マイクロフォンジャックタイプ(2.5φ)です。トリガー信号の出力用です。

チャンネル	受信機	送信機	チャンネル	受信機	送信機
1			9		
2			10		
3			11		
4			12		
5			13		
6			14		
7			15		
8			16		

## 基本的な取り扱い方法

### ■本体のセット

#### 送信機

・送信機とカメラの電源がオフになっていることを確認してください。

・カメラのアクセサリシューに送信機のシューブラケットを差し込みます。

アクセサリシューにカバーが付いている場合は、あらかじめ取り外しておきます。ブラケットの中心に付いているボール状の電極は＋となります。お手持ちのカメラが本仕様に対応していることを確認の上、ご使用ください。

・固定リングを回して固定してください。

#### 受信機

・受信機とストロボの電源がオフになっていることを確認してください。ストロボのシンクロコンセントに受信機のシンクロプラグを差し込みます。

### ■発光準備

1. 送信機のアンテナを立てます。
2. 送信機の電源スイッチを「ON」側に切り替えます。
3. カメラの電源をオンにします。
4. 受信機の電源スイッチを「ON」側に切り替えます。
5. ストロボが発光許可状態になるのを待ちます。
6. 以上で発光準備は完了となります。

### ■テスト発光

1. テストボタンを押し、正常に発光することを確認してください。
2. 発光後、ストロボが発光許可状態になるのを待ちます。
3. カメラのシャッターボタンを押し、カメラのシャッターと同調してストロボが正常に発光することを確認してください。
4. 発光後、ストロボが発光許可状態になるのを待ちます。
5. 以上の動作が問題なく行えれば、送信機・受信機共に正常に動作しています。

## 主な仕様

型式	DC-2.4A	
種類	無線ストロボトリガー	
通信方式	電波式	
使用周波数	周波数偏移変調式、2.4GHz帯	
最大動作距離	100m ※1	
チャンネル数	16	
電池	送信機 23A乾電池1本(12V×1)	受信機 単四形乾電池(1.5V×2)
外形寸法 (mm)	68 × 44 × 38 ※2	76 × 43 × 21 ※3
重量 ※4	44 g	48 g
入出力端子	アクセサリシュー用端子×1 マイクロフォンジャック×1	フォンプラグ×1 マイクロフォンジャック×1
付属品	取扱説明書（本書）、6.3φ→3.5φ変換プラグ、 23A形乾電池・1本	

※1 本機とストロボとの間に障害物や遮蔽物がなく、他の機器との電波干渉がない場合です。各機器の配置や周囲の環境、気象条件などにより、通信可能距離が短くなることがあります。

※2 アンテナを含みません。

※3 ケーブル、シンクロプラグを含みません。

※4 電池を含みません。

## 故障かな?と思ったら...

### 電源が入らない

・電池の残量は十分でしょうか？ 電池の残量が十分であることを今一度ご確認ください。

・電池は正しい向きに取り付けられていますでしょうか？ 電池の取り付け直しを再度お試しください。

### フラッシュが光らない

・送信機と受信機の電源スイッチは「ON」側に切り替えられていますでしょうか？ 電源スイッチを今一度、ご確認ください。

・送信機と受信機のチャンネルスイッチは同じ設定になっていますでしょうか？ チャンネルスイッチの設定を今一度、ご確認ください。

・カメラのアクセサリシュー及び送信機のシューアダプターの接点部分に汚れやごみなどは付着しておりませんか？ 今一度、ご確認ください。

・ストロボの電源はオンになっておりますでしょうか？ 今一度、ストロボの電源状態をご確認ください。

・ストロボにシンクロプラグが正しく取り付けられていますでしょうか？ 今一度、シンクロプラグの取り付け状態をご確認ください。

・ストロボは無線を受信可能な設定になっていますでしょうか？ 今一度、ストロボの設定をご確認ください。

・発光抜けが多発する撮影場所の近くにWi-FiルーターやBluetooth機器、携帯電話やスマートフォン、電子レンジなど、2.4GHz帯の電波を使用している機器はありませんでしょうか？ 本機とこれらの機器は同じ周波数帯を利用しているため、影響を受ける可能性があります。本機とストロボのグループを今ご使用になられているものと異なるものに切り替えて、現象が改善されるかを今一度、ご確認ください。

以上を確認しても現象が改善されない場合は、販売店様、または弊社各営業所にご相談くださいますようお願いいたします。

## プロペット株式会社

本社・東京営業部

〒111-0041 東京都台東区元浅草3-18-5 寺嶋ビル3F

Tel 03-5828-0681(代) Fax 03-5828-3890 Mail info@propet.co.jp

工場・修理

〒321-0921 栃木県宇都宮市瑞穂3-9-15

Tel 028-656-9292 Fax 028-656-6392

2021.6